

## 八百津町の「ふるさと教育」

私たちは、「ふるさと八百津に誇りと愛着を持った子ども」を育成したいと考えます。

子どもたちが将来、八百津町に住む地域社会の一員としての自覚をもち、地域づくりに主体的に関わり、生まれ育ったふるさとを「心の寄る辺」として、たくましく生きていく子どもを育てていくことが重要であると思います。

### 1 求める姿

八百津で育った子に、次の3つの姿をのぞみたいと考えます。

- ・ 八百津町に住み続け、地域に貢献しようとする。
- ・ 一旦は、八百津町を離れるが、やがて戻り、地域のために尽くす。
- ・ 将来、八百津町を出て、どこに住もうとも、郷土八百津町のことを決して忘れない。

八百津町に育ったことに誇りをもち、堂々と生きていく人材を育成したいと考えます。

### 2 八百津のふるさと教育の素材

八百津町には、豊かな自然があり、よき文化や伝統が残っています。地域の偉人もいます。そして、地域の方々が笑顔で挨拶を交わす温かい人と人との絆があります。地域へ貢献してみえる人がいっぱいみえます。

それらを教育に活用することが、子どもたちに地域への誇りと愛着をもたせ、夢・志を育む土台となると考えます。

### 3 具体的な取り組み

生まれ育った地域のすばらしさを知り、地域への誇りを愛着を育ん

でいくために、次のことに取り組んでいます。

#### ◇学校教育

地域を知り、地域に学ぶ教育の充実を図っています。

地域の自然や歴史、文化・産業などを理解する学習や、地域の人々と連携した多様な地域学習を進めています。(総合学習、教科等)

郷土の偉人「杉原千畝」を学ぶ活動は、すべての学校で行っています。杉原千畝記念館見学をはじめ、千畝を学ぶ人道の部屋(コーナー)を設置しています。学校によっては、創作劇の上演や他地区との学校の交流(名古屋市平和小、敦賀市角鹿中)などを行っています。

歴史や文化財などを熟知してみえる方を、「地域の先生」として、学校で授業を行っていただいています。八百津祭りなどの学習で、学校に講師として、お招きして、学習会を行っています。

また、地域の自然や産業の教育(たとえば、見行山登山、八百津せんべい・こんにゃくなどの学習)もすすめています。

#### ◇社会教育

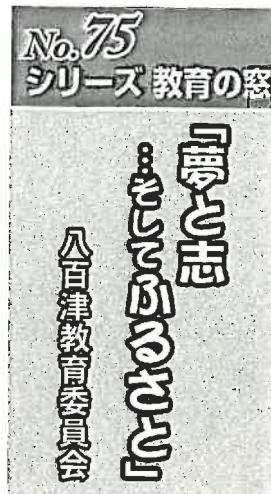
脈々と受け継がれてきた文化財や伝統文化などを、子どもたちを含め、次世代に引き継ぐ取り組みに努めています。

八百津町には、歴史や文化財などに、精通した方がいます。たとえば、「文化財・旧八百津発電所研究」や「八百津祭りや久田見祭りの研究」などをしてみえる方であります。それらの方を、講師として招き、「八百津の歴史等」講座を開設しています。

人権講演会などで、杉原千畝を学ぶ会も行っています。

また、ファミリーセンター(公民館)のロビーに、郷土の歴史等の資料コーナーを設置するなどして郷土を愛する心を育てています。

これらの教育活動が、「人口減少への対応」「少子化対策」にも貢献できればと考えています。



1 はじめに

平成30年度がスタートして1ヶ月、どの学校でも順調に教育活動が行われています。

今回は、今年度の学校教育の方針を紹介いたします。

2 めざす子どもの姿

(1) どの子どもにも、夢・志を描かせる

私たちは、『夢・志』をもってたくましく生き抜いていく子どもを育成したいと考えています。

一人一人の子どもは、社会の中で何らかの役割を期待されて生まれてきたかけがえない存在です。子どもたちに、世のため人のために尽くす、夢・志をもたせたい、そして、それぞれが描いた『夢・志』を実現するための努力をさせていきたいと思っております。その中で、確かな学力、豊かな心、健康な体などを一層磨いていきたいと考えます。

(2) ふるさと八百津を愛する心を育む

私たちは、地域や社会の発展に貢献する子どもを育成したいと考えています。子どもたちが将来、地域社会の一員としての自覚をもち、地域づくりに主体的に関わることや、生まれ育ったふるさと八百津を「心の寄る辺」として、たくましく生きていくことが重要であると考えます。

3 そのための方策

～八百津スクールエイト～

① 安全・安心な環境づくり

学校は、子どもが安心して通うことができる安心・安全な場所でないけません。どの学校でも子どもの安全・安心の確保に力を入れ、危機管理体制の確立を図っていきます。

② 学力の向上

学力を育むことは、学校教育の根幹的な役割です。学ぶ意欲を高め、基礎的・基本的知識・技能を身につけ、課題を見つけて解決していく力など、生きる力の基盤となる確かな学力をつける取り組みをします。

③ キャリア教育の推進

望ましい職業観や社会性を養い、将来の職業や生き方について自覚を促すことが重要です。夢・志をもたせ、働く

平成30年度

八百津 スクールエイト

八百津町

- ◇教育相談アンケート実施の推進
- ◇「携帯電話やスマートフォン等の使い方」の約束づくり
- ◇いじめ防止等のための基本方針の制定
- ◇いじめ対策スーパーバイザーの各学校の委員会への出席
- ◇スクールガードの配備 ◇防犯ブザーの配布
- ◇子ども110番の家の活用
- ◇カラー舗装の推進
- ◇教育相談体制の強化
- ◇年6回アンケート実施とそれに基づいた教育相談の実施
- ◇毎月の安全点検簿の改善と異常箇所へ即座の対応
- ◇危機管理マニュアルの内容の検討
- ◇不審者対応等の行事の実施

安全安心な環境

学力の向上

- ◇全国学力・学習状況調査の分析の提示
- ◇「わくわく科学の広場」の実施
- ◇ICT教育の推進
- ◇(タブレットの設置・プログラミング教育の研修)
- ◇加茂郡研修講座(八百津町図書館サミット等)実施
- ◇小学校教科担任制の実施の推進
- ◇きめ細かな学校支援員の配置
- ◇習熟度別少人数指導による一人一人に応じたきめ細かな指導
- ◇全国学力・学習状況調査の有効活用
- ◇学校図書館の充実・読書活動の推進
- ◇主体的対話的、深い学びの推進
- ◇家庭教育の充実

- ◇すべての小中学校で夢教室事業の実施
- ◇中高交流教育のコーディネート
- ◇立志の集い事業の推進
- ◇職場体験
- ◇ボランティア活動の推進

キャリア教育(夢・志)

ふるさと教育

- ◇地域の人材活用のための「ワンコインボランティア」の実施
- ◇教科や総合的な学習の時間などで、地域の自然や歴史、文化および産業などに関する学習や、地域の人々と連携した多様な地域学習の推進



特別支援教育

- ◇特別支援学級への支援員の配備
- ◇特別支援教育ネットワーク強化事業の実施(早期からの一貫した教育支援体制構築事業)
- ◇通級指導教室設置の推進
- ◇居住地交流の充実
- ◇障がいの特性に応じた個別の支援計画の作成
- ◇個別の指導計画の作成
- ◇ユニバーサルデザインへの配慮

- ◇中学生海外研修(リトアニア・ポーランド派遣)
- ◇ALT3名の配備
- ◇英語教育スーパーバイザーの設置
- ◇高校生海外留学制度の実施
- ◇小学校1年からの英語学習の推進

国際理解教育



人道教育

- ◇杉原千代の部屋
- ◇杉原千代記念館の活用
- ◇杉原千代氏を学ぶ機会の推進
- ◇美しいものを美しいと感じる心を育成する芸術鑑賞会の実施
- ◇児童生徒会サミットの実施
- ◇「ひびきあいの日」を核とした思いやりの心を育む取り組み(ほかほかことば など)

《めざす姿》

- ◇夢・志をもち、「生きる力」を身につけ、たくましく生き抜く子ども
- ◇地域と社会に貢献できる子ども

教職員の資質向上

- ◇教頭コール研修
- ◇専門性を磨く研修
- ◇ヤング研修(初任者・3年以下の教員・講師)
- ◇「小規模でも社会性を育てる」ためのへき地教員研修
- ◇研究指定校助成
- ◇事務の共同実施
- ◇校内研修の充実

ことへの理解を深め、社会人としての必要な能力を身につけることに力を入れます。

④ふるさと教育の充実

「ふるさと」への誇りと愛着を大切に、地域と連携してふるさと教育の充実に向けた体験活動や交流活動などに力を入れます。子どもたちが豊かな自然や、文化に触れる機会や、地域の人とかかわる機会をもつことに力を入れます。

⑤人道教育の推進

「人道精神」は、杉原千畝氏を象徴する精神であり、現在、そして将来に向けて、主体的に守り、引き継いで行く重要な精神であると考えます。すべての子どもたちに、杉原氏のように「温かい人間愛の精神」の心、人の痛みを理解し、人を思いやることができる心を育てることを重視します。

⑥国際理解教育の推進

グローバル化により、様々な分野で国際化が急速に進んでいます。そして、現在、国際感覚あふれる人材の育成が望まれています。そのために、小学校からの英語学習や、中学生対象の海外研修などを行います。

⑦特別支援教育の充実

通常の学級における指導だけでは、そ

の能力を十分に伸ばすことが困難な子どもが増えています。子ども一人一人に応じたきめ細かな指導を行うために、「特別支援学級での指導」や「通級による指導」などの充実を図ります。

⑧教職員の資質の向上

教職員が、教育に積極的に取り組むことができる資質能力を向上させるための支援を行います。

4 おわりに

この方策をまとめたものが、右ページ下の「八百津スクールエイト」です。

今年度はこの8つの項目を重点的に進め、よりよい教育につなげていきます。みなさまのご理解・ご協力をよろしく願います。

○お問い合わせ先

八百津町教育委員会

☎ 43-0390



## 5月30日から6月5日は「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」です。

毎年、町内では多くの不法投棄の通報があります。不法投棄は行わないことはもちろん、地域で監視し、不法投棄をさせない環境作りも大切です。みなさまのご協力で美しい八百津町を目指しましょう。

(写真はいずれも昨年度、町内で不法投棄されたごみです)

### 不法投棄は犯罪です！！

懲役5年以下もしくは1000万円以下の罰金が課せられます。

○お問い合わせ先 水道環境課 環境衛生係 ☎43-2111(内線2126)



### 納期のお知らせ

●7月2日 納期限●

町県民税  
国民健康保険税  
介護保険料  
保育料  
水道料  
町営住宅使用料

1期分  
2期分  
2期分  
6月分  
6月分  
6月分

●7月31日 納期限●

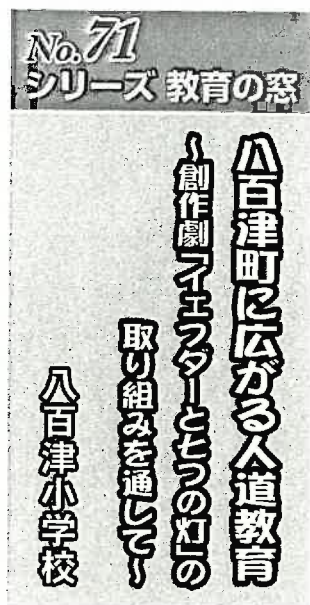
固定資産税  
国民健康保険税  
介護保険料  
後期高齢者医療保険料  
保育料  
水道料  
町営住宅使用料

2期分  
3期分  
3期分  
1期分  
7月分  
7月分  
7月分

※口座振替をご利用の方は残高を確認ください。

### 6月 加茂休日急患診療所

3日(日) 野尻整形外科 ☎25-3500  
10日(日) 田原医院 ☎53-5588  
17日(日)  
太田メディカルクリニック ☎26-2220  
24日(日)  
木沢記念病院(当直医) ☎25-2181



「これからも思いやりの心や人に優しくする心を大切にしていきたい」6年生の子どもたちが「ひびきあい集会」で自信をもって話してくれました。子どもたちは、「夢と志の芽を育む」という学校の教育目標を受けて、杉原千畝氏から学んだ人道精神の願いを引き継ぎ、仲間を大切にすることや思いやりの心を育むように取り組んでいます。

### 1. 花フェスタ記念公園での上演

11月3日(金・文化の日)、可児市の花フェスタ記念公園において、5・6年生が創作劇「イエフダーと七つの灯」を上演しました。野外ステージ「プリンセスホール雅」では約800人分の観客席がいっぱいに、たくさんのお客さまの前で、子どもたちは堂々と演じることができました。

子どもたちは、劇をつくり上げていく中で、「ピザを求めるユダヤの人たちはどんな気持ちだろう」「千畝さんは命のピザを発行すると決断したときはどうな思っていたのだろう」など、千畝さんやユダヤの人々の気持ちに思いを馳せ、台詞の言い回しや演技をみんなで作ることを大切にしてきました。そんな思いをしっかりと表現することができたと思います。



学校の花壇にも、5年生が植樹した「クラージュ」が植えられています。

### 2. 名古屋市立平和小学校との交流

11月24日(金)杉原千畝氏が卒業した名古屋市立平和小学校との交流会を行いました。本校の劇を見ていただき、平和小の発表を聞いて、その後、意見交流を行いました。

『はじまりの種のひとつぶがいつか森になる』という詞で始まる挿入歌「君が明日と呼ぶものを」の歌詞にあるように、千畝さんの勇気ある決断というひとつぶの種が、どんどん優しさとなって広がり、私たちに受け継がれたことが分かりました」と平和小学校の児童が創作劇を観た感想を発表してくれました。

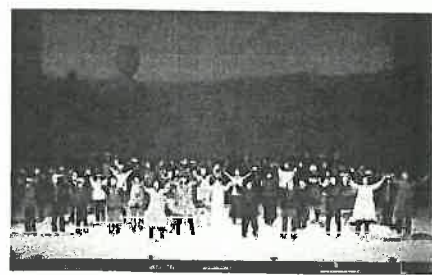
こうして、平和小学校など多くの方と交流ができるのも、杉原千畝氏の人道精神が伝わってくれた縁のおかげです。また来年も平和小学校の仲間と交流を続けていきたいと考えています。

### 3. ひびきあい集会

11月25日(土)には「ひびきあい集会」を行いました。第一部には「イエフダーと七つの灯」の上演を行いました。上演には、金子町長様をはじめ、

またこの日、6年生は杉原千畝氏をイメージした新品種のバラ「クラージュ」の植樹にも参加しました。「クラージュ」の名前の由来は、「勇気」です。杉原千畝氏が命のピザの発給を決断した、その勇気ある行動から名付けられました。

多くの来賓のみなさまや保護者、地域の方など約400人ものお客さまが観に来てくださいました。第二部では「OMOIYARI ARI音楽会」を行いました。八百津小学校では、音楽会やひびきあい集会などで「OMOIYARIのうた」を大切に歌い続けています。

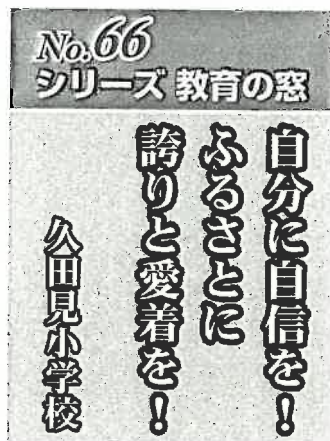


ゲストとして、この曲を作った歌手の藤田恵美さんにお越しいただきました。藤田さんの奏でる演奏・歌声は、本当にすばらしく、子どもたちが感動とあこがれをもった音楽会になりました。

最後に、藤田さんと全校児童が一緒に手話をしながら「OMOIYARIのうた」を歌いました。この歌詞にもあるように、「ありがとう」と言われたら、なぜかうれしくなったよ。OMOIYARIは世界を幸せにする魔法。そんな気持ち忘れずに、杉原千畝氏の人道精神をこれからも受け継ぎ、その功績を伝え続けていきたいと思えます。

創作劇の上演にあたり、地域のみなさまから温かい励ましと応援をいただきました。ありがとうございました。





久田見小学校は、標高520mの高原に位置し、全校児童37名の学校です。小規模校のよさを生かした特色づくりを進め、「自分に自信を、ふるさとに誇りと愛着をもつ子」を目指しています。

**自分に自信を！**

本校では、小規模校のよさを生かし、一人一人に丁寧な指導を心がけています。その1つとして、「一人一人を見届け、状況に応じた指導」を大切にしています。困っている子には、思考を促すヒントを示し、できている子には、さらに考えを深めるためのアドバイスをするなどして、一人一人の状況に応じた指導を心がけ、「できた！



わかった！」という自信が持てるようにしています。

下の写真は、全校朝会の子どもの発表の様子です。本校では、全員が1年間のうちに1回、自分の経験や調べたことなどを発表します。低学年は、担任が発表内容や聞く人にわかりやすい発表の仕方を指導します。学年が上がるにつれて、自分で準備したり練習したりできるようになってきます。



さらに、拳手をして感想を言う場をもっています。学級で発言する力を付け、それを全校の場で発揮すること、これから先、どのような集団でも自分の意見が出せるようになって欲しいと考えています。

また、本校では「トランペット鼓隊」が有名です。毎年、運動会を始めとして、久田見地区運動会、八百津町産業文化祭、八百津町小学校音楽会、ふれあい祭りと、いろいろなところで演奏を行ってきました。ト

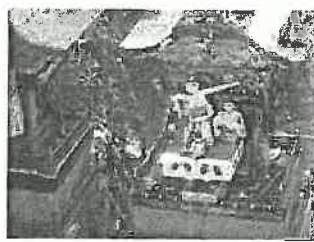


ランペット鼓隊は、今年で46年目を迎えます。かつては、6年生だけで編成していましたが、現在は、3年生以上です。マーチングバンドの指導者を招いて、本格的に練習しています。

「自分のパートをやりきり曲を仕上げた満足感・自己有用感」「上級生が下級生に教えていくつながり」「地域の方々が楽しみにしている」という期待に応えることの大切さ」「久田見小の伝統を守りたいという思い」など多くのことを学び、自信をつけることにつながっています。

**ふるさとに誇りと愛着を！**

久田見といえ「久田見祭り」です。400年以上の伝統をもつ久田見祭りには、毎年多くの子どもが参加します。祭りの前には、地域の人たちと太鼓の練習を何度もするなど、子どもたちも祭りの立派な主役となっています。



本校では、「ふるさとを愛し、感謝の気持ちを育む」ふるさと学習にも力を入れています。地域には、すばらしい教材がたくさんあります。

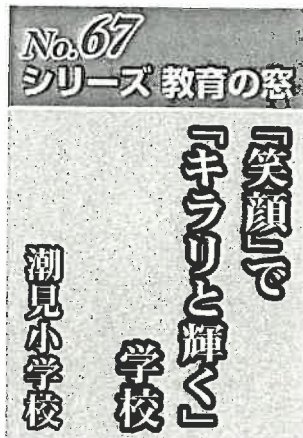
そして、子どもたちを温かく見守ってくださる人が大勢みえます。「地域の人・もの・こと」を活用した教育活動を進めています。そのひとつが、「久田見・福地オリエンテリング」で、毎年5月に行っています。

今年は久田見を舞台に、1〜6年の縦割りグループで12の施設や工場、店を回りました。お世話になっている地域の人たちからお話をお聞きし、体験をさせていただく中で、地域のよさや働く人の工夫について学ぶことができました。また、質問したり話したりすることは、表現力を養うことにもつながっています。

さらに、上級生は、下級生や地域の方がどうしたら喜んでもらえるかといった相手を意識することを大切にしながら、活動に参加していました。



この「久田見・福地オリエンテリング」によって、子どもたちは、地域のよさを再発見するとともに、地域への愛着と誇りを高めています。



1. はじめに

潮見小学校は、豊かな自然に囲まれた学校です。全校11名の子どもたちが、学校と家庭・地域が一体となつてさまざまな活動を行っています。

本校は、子どもたち一人ひとりが生き生きと活動し、地域と共に歩む教育活動を推進し、「笑顔」で「キラリと輝く」学校を目指しています。

2. 「少人数のよさを生かした教育活動の推進」

(1) 自分の考えを自分のことばで表現する活動

毎時間一人ひとりに発言の時間を十分とることができるという少人数の利点を生かし、授業では自分の考えを相手に伝える過程を大切に指導しています。そして一人ひとりを丁寧に見届け、確かな力をつける指導を行っています。また、集会活動や全校帰りの会でも、1年生から6年生まで一人ひとりが全校の前で話す機会もっています。特に「やまびこ」と名付けた集会活動では、児童会主体で自分たちの学校生活での問題や行事への取り組みについて話し



合ったり、総合的な学習で一人ひとりが課題をもって追究したことを発表したりしています。「やまびこ」では、仲間が発言した内容については必ず何か意見を返す「こだま」を大切にしています。

(2) 自分から進んで学習する活動

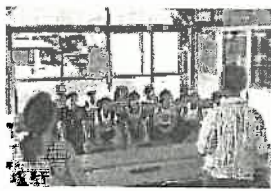
昨年度、本校にタブレットが整備されました。自ら進んで学習できるように、ICT機器を計画的に活用しています。常時一人一台使用できるので練習問題で習熟を図ったり、調べ学習を行ったりしています。

(3) 全校で実践している活動

本校では、早い時期から英語に親しみ、コミュニケーションの楽しさを感じてほしいという願いから、週に1回、木曜日をイングリッシュデーとしています。朝の英語でのあいさつから始め、放送や給食の紹介も英語で行います。また、モーニングイングリッシュタイムでは、全校で視聴覚教材などを活用して簡単な英語での会話を学習しています。チャレンジカードを使って仲間や職員と英語会話を楽しんでいます。

3. 「ふるさとを愛する心を育てる教育活動の推進」

(1) ふるさとを体験する活動  
本校では、地域を知る活動や地域の



人々とふれあう活動を大切にしています。毎年、ふるさと潮南や八百津町のよさを知ってほしいという願いからふるさと体験学習を位置づけています。今年度は、いつもバスで通学している道を歩いて、じっくりと地域の様子を観察しました。そして、潮南環境改善センターで防災対策のことを学び、さらに、しおなみマレットゴルフ場では、地域のみなさんが協力して山を切り開き、自分たちの手でゴルフ場を建設された大変さや、ゴルフ場に対する思いを聞き、ふるさとへの理解を深めました。

(2) 各自がテーマを設定して取り組む活動

本校では総合的な学習の時間や生活科の時間に、一人ひとりがふるさと潮南の自然・歴史・文化をテーマに課題追究を行っています。主体的に地域とかわり、より深く地域を知ることにより、愛着を深めています。

4. 「特色ある教育活動の推進」

(1) 粘り強く取り組む意欲を育む活動

仲間と目標をもって粘り強く取り組む力を育む活動の一つとして、一輪車演技に取り組んでいます。元世界チャンピオンの方の指導を受け、体力づくりの一環として、全校で継続して取り組んでいます。子どもたちは一輪車によつて体幹を鍛え、バランス感覚・持久力を身につけています。昨年から、同じように一輪車に取り組む他校との交流を

始めるなど活動の輪を広げています。(2) 命を大切にすることを育む活動

毎年全校で花壇づくりを行い、FBC(フラーブーラボークンクール)に参加しています。小さな種から芽が出て花を咲かせる営みを観察し、愛情をもつて丁寧に世話をすることによつて、植物に親しみ、命を大切にできる温かい心が育ちます。また、交流の一環として地域の施設に花を贈る活動にも取り組んでいます。昨年度は、取り組みを認められ、岐阜県教育委員会賞を受賞しました。



(3) 社会性を育てる活動

本校の子どもたちは、地域の障がい者支援施設「しおなみ苑」と学習会や行事を通して、全校で毎年交流を重ねています。そこでの体験から様々な立場の人が共に生きていくことを学んでいます。

5. おわりに

このようにさまざまな教育活動を通して本校の子どもたちは日々の学びの成果を確かな力にし、ふるさと潮南・八百津への愛着を大切にしながら、将来に備えて意欲的に学んでいます。本校では、毎年2月に「ふるさとふれあい発表会」を実施し、保護者や地域の方に一年間の学習の成果を発表しています。今年度も子どもたちが「笑顔」で「キラリと輝いた」成果をたくさん発表できることが期待されます。

## 地域との連携を図りながら進めるデュアルシステム（企業実習）

～ふるさと八百津の中で取り組むキャリア教育～

岐阜県立八百津高等学校

### 1 八百津高校の概要



#### 生徒数

1年生 男子68名・女子52名 計120名

2年生 男子59名・女子58名 計117名

3年生 男子62名・女子52名 計114名

計189名 計162名 計351名

1学年120定員(3クラス規模)を各学年4クラスに分けている。

- ・創立75周年目
- ・学び直しが必要な生徒が多く在籍
- ・**連携型中高一貫教育**をスタートして今年で15年目  
県立高校でありながら八百津町立八百津高校のような学校
- ・**デュアルシステム(企業実習)**をスタートして今年で3年目

### 2 平成29年度 進路状況

・**進学** 44名 (四年生大学12・短大7・専門学校25)

・**就職** 65名 (トヨタ自動車1・KYB4・岐阜車体1・日本郵便1  
・可茂消防1・八百津町職員2 など)

その他 4名

高校入学時からの多様な進路希望



個に応じた進路指導が必要

高校卒業時の多様な進路先



### 3 八百津高校の「キャリア教育」の特徴は・・・



## 「デュアルシステム」

### デュアルシステムとは？

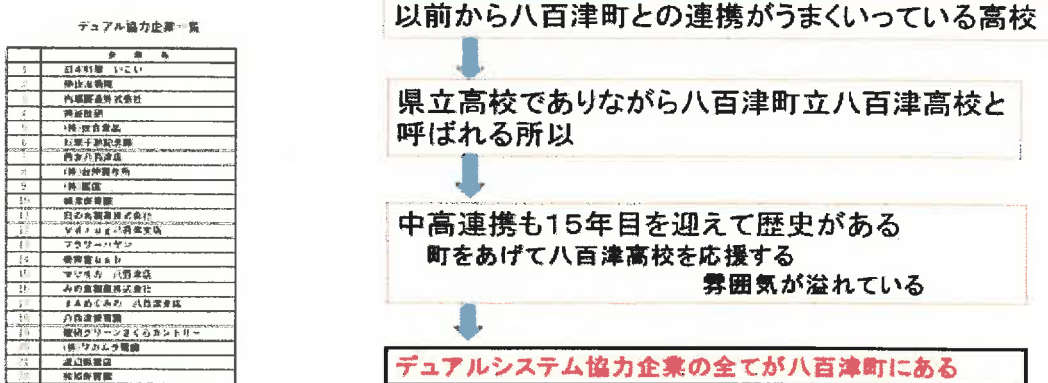
授業の中に企業(事業所)での実習を採り入れ、  
 学校で学ぶことと、企業(事業所)で学ぶことを  
 同時並行でおこなうシステム。 ※デュアルシステム趣意書より

**「就職希望者の課題」** ※デュアルシステム趣意書より  
 本校では、授業や部活動、登下校時等を通じてあいさつ、社会人としてのマナー、コミュニケーション能力、実践力(自分で考え、表現する、行動する)の育成に取り組んでいますが、まだまだ不十分です。  
 社会では、高卒就職者の3割が3年以内に離職してしまう状況が問題となっており、望ましい勤労観・職業観の育成と適性を考えた進路選択が要請されています。



## 「就職するため」だけではなく、生徒たちが 「就職後に職場で力を発揮するため」のシステム

### 4 ふるさと八百津で取り組むデュアルシステム



デュアルシステムは八百津高校の生徒の育成のためだけでなく、受け入れている企業の活性化にも繋がる。生徒の成長は将来の地域社会であるこのふるさとの発展にも繋がる。

可茂地区連携型中高一貫教育への取組  
～杉原千畝から学ぶ人道教育～

岐阜県立八百津高等学校

## 1 平成30年度の目標と重点

### (1) 連携型中高一貫教育の目標 (今年度改訂)

「6年間を通して育てる・地域から学び、地域に貢献する人材の育成

～こつこつと学習に取り組み、真面目に生活を送る態度を育てる～

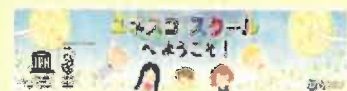
1. さらなる連携の推進
2. 確かな学力をつける
3. 生きる力を育む

### (2) 連携型中高一貫教育の重点

- ① 発達段階に応じたキャリア教育を進めるとともに、中学校2年生の職業体験と高校1年生のインターンシップを、高校でのデュアルシステムに繋げる工夫をさらに進める。
- ② チャレンジテストの充実を図るとともに、継続的な取組の成果を実感させる工夫を進める。
- ③ 杉原千畝学習を継続し、12年間に及ぶ人道学習を継続発展させる。

## 2 人道教育への取組① 八百津町をあげて

- ① 平成28年度から八百津町内の小学校・中学校・高等学校の全てがユネスコスクールに登録を申請開始
- ② 杉原千畝記念短歌大会に町内の小学校・中学校・高校の児童生徒が応募
- ③ 杉原ウィーク 町内の小学校・中学校・高校の児童生徒会の代表者によるサミット開催
- ④ 敦賀市の学校との交流
  - ・ 東部中学校 (6/7) 敦賀市立角鹿中学校と交流
  - ・ 八百津高校 (12/18) 敦賀高校と交流



## 人道教育への取組② 中学校



杉原千畝ゆかりの地である八百津町は人道教育に力を入れている。  
 今年度は、八百津町の中学生20名がリトアニアを訪れた。  
 また千畝が在籍した早稲田大学混声合唱団が八百津町を訪れ、2中学校の生徒と合唱で交流した。

## 人道教育への取組③ 高校では

八百津高校には

- ・ 9年間杉原千畝について学び人道精神を育んできた連携中学出身者
- ・ 杉原千畝について知らない連携中学校以外の生徒

人道教育の強化

千畝学習



人権朗読劇鑑賞



鑑賞後団員と懇談



町在住Jヴィパ人の特別授業



人権講演会（石岡史子氏）

